

進行管理・実施状況評価の考え方

(1) 目的

本町においては、男女共同参画社会基本法に基づく市町村男女共同参画計画として、令和3年3月に「第5次さむかわ男女共同参画プラン」を制定した。

また、本計画は、寒川町総合計画「さむかわ2040プラン」に基づく分野別の基本計画の一つでもある。

第5次計画は、令和3年度から令和6年度を計画期間とする本町のあらゆる分野にわたる計画であり、その推進に当たっては、全庁的な取り組みを必要とする。

(2) 評価の対象及び方法等

【評価の対象】

①事業実施担当課が実施する各事業の評価

各事業ごとに、事業実施担当課が自己評価を行い、町民窓口課（令和3年度から）において、その実施状況をとりまとめ、さむかわ男女共同参画プラン推進協議会（以下「推進協議会」という。）に報告し、意見を伺う。

②基本目標の評価

第5次さむかわ男女共同参画プランで定める4つの基本目標の評価は、各事業の評価内容を踏まえ、推進協議会において実施する。

推進協議会では、各基本目標が計画期間の中でどの程度進んでいるのか、遅れている部分についてはどのようにして進めるべきかなどについて、総合的な広い観点から評価するものとする。

なお、この基本目標の評価結果は次期計画の策定に関し重要な参考資料とする。

【評価の方法】

1. 進行管理表（別紙）により、各事業ごとに、事業実施担当課が自己評価を行い、さむかわ男女共同参画プラン連絡会（以下「連絡会」という。）に報告し、推進協議会へ最終報告を行う。

2. 事業の実施状況及びその評価内容について、町民に公表する。

【各事業の評価基準】

事業実施担当課が、目標の「達成度」、「今後の方向性」について自己評価を行う。判定区分は下記のとおり。

【目標の達成度】

- A：目標達成
- B：概ね目標達成
- C：目標に向け事業が遅れている
- D：目標に向け事業がほとんど進んでいない

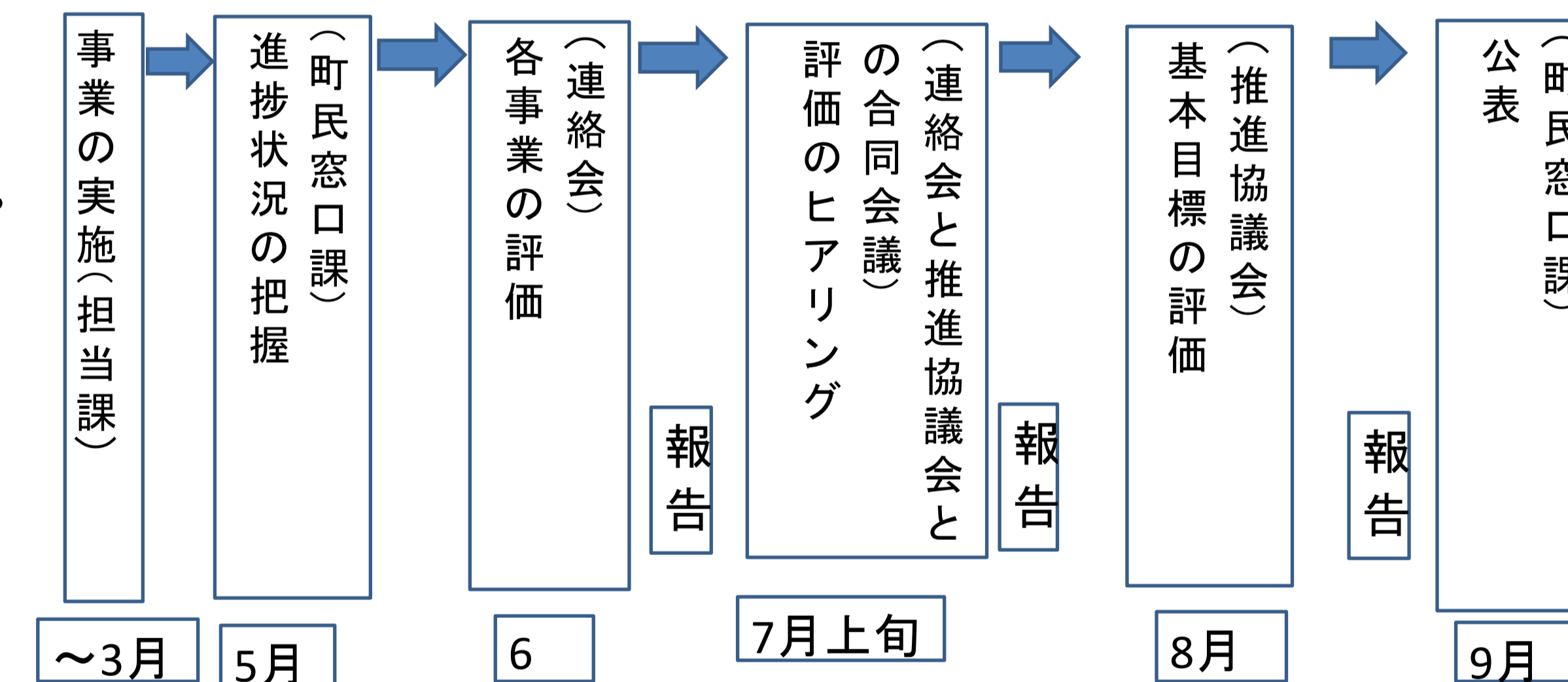
→【目標の達成度】についての考え方

- A: 目標値に達している
- B: 目標値に対し80%以上の実績値
- C: 目標値に対し80%未満の実績値
- D: 目標値に対し取り組むことができなかった

【今後の方向性】

1. 更に充実強化していく
2. 計画どおり取り組む
3. 一部見直しが必要
4. 事業の休止または廃止

進行管理・評価の流れ



<基本目標Ⅰ あらゆる分野での女性の活躍推進>

施策の基本的方向 1. 政策や方針決定過程などへの女性の参画の促進
 施策の内容(1) 事業所等への女性登用の促進

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
1	管理職への女性登用の推進						令和4年度末時点管理職数(7級・8級) 管理職数:58名 うち女性:13名(22.8%) 管理職の登用には能力と実績に基づき任用されることが基本だが、女性職員の比率は年度によりばらつきが大きい。これは、出産・子育て等により女性職員のキャリア断絶や離職が発生していることによるものであるが、ここ数年は新規採用職員における女性の割合も高くなってきているほか、女性職員のキャリア形成に関する研修を企画するなど、取組を進めている。	A	管理職への登用は、男女の区別なく総合評価による抜擢人事としていることから、女性職員のみを優遇することは難しいが、仕事と家庭の両立に向けた各種制度の整備・周知もあり、目標を達成したことから、標記の評価とした。	人事課
	事業所としての町の取り組みとして、能力や意欲のある女性の管理職への登用を推進します。	管理職の職員数における女性の割合(%)	20	20	20	20		2		
			18	22						

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
2	勤労者実態調査の実施									産業振興課
	町内事業所に勤務する労働者の実態を明らかにし、労働行政の基礎資料とすることを目的に3年毎に実施し、その結果を事業所に周知します。	調査票の回収率(%)			40					
			-	-	-	-				

施策の基本的方向 1. 政策や方針決定過程などへの女性の参画の推進

施策の内容(2) 町審議会などへの女性委員の登用

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績				
3	女性委員登用の推進		26	28	30	32	<p>地方自治法(第202条の3)に基づく審議会等の女性の登用状況 該当する審議会等数 28 総委員数 392名 うち女性委員数 131名 女性委員比率 33.4%</p> <p>公募委員の選考に当たっては、男女比に配慮して女性委員の登用を進めているが、委員の選出を団体や組織に依頼するケースが多く、その団体や組織の特性から女性が少ないといった個別の状況もある。また、職を指定している場合に、その職に女性が就いていないことも多い。 前年度(令和3年度27%)より女性委員の割合が増えているが、次年度の目標値に向け、引き続き選出方法の工夫・選出団体への女性登用の意識づけに取り組む必要がある。</p>	A	<p>前年度(令和3年度27%)より登用率が増加し、目標達成した。引き続き、各種審議会等を所管する担当課に対し、委員改選時には女性委員の登用についてご配慮いただくよう通知した。</p>	町民窓口課
	町審議会などの職指定委員の見直しを図り、女性委員の登用をより一層推進します。	町審議会の女性委員の登用率(%)	27	33	2					

施策の内容（3）住民活動などにおける女性の活躍促進

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
4	女性の活躍のための講座の開催		100	100	100	100	男女共同参画推進の講座として、神奈川県、藤沢市及び茅ヶ崎市と連携した講座を開催した。	A	①②の出席者数の合が、188人であったため。 男女共同参画白書(令和4年版)によると、コロナ下において、日本における男女共同参画が進んでいなかったことが改めて顕在化した。問題の背景には、家族の姿が変化しているにもかかわらず、男女間の賃金格差や働き方等の慣行、人々の意識、さまざまな政策や制度等が、依然として戦後の高度成長期、昭和時代のままとされていることが指摘されている。 人生100年時代を迎え、日本の家族と人々の人生の姿が多様化し、昭和の時代から一変しているなかで、男女共同参画を進めるにあたっては、このことを念頭において、誰一人取り残さない社会の実現を目指すとともに、幅広い分野で制度・政策を点検し、見直していく必要がある、と報告されている。 男女間の働き方等の慣行、人々の意識が依然として変わっていないなかで、意識改革として男女共同参画講演会や人権等についての講演会を開催することは意義のあることと考える。	町民窓口課
	女性の活躍促進のための講座を開催し、女性リーダー育成や住民活動等への参画を促進します。また、町以外で開催される講座等について情報提供します。	講座の参加人数(人)					135			

施策の基本的方向 2. 働きたい、働き続けたい女性の支援
 施策の内容(1) 女性の人材育成の充実

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
5	女性の活躍のための講座の開催 (再掲)						男女共同参画推進の講座として、神奈川県、藤沢市及び茅ヶ崎市と連携した講座を開催した。		①②の出席者数の合が、188人であったため。 男女共同参画白書(令和4年版)によると、コロナ下において、日本における男女共同参画が進んでいなかったことが改めて顕在化した。問題の背景には、家族の姿が変化しているにもかかわらず、男女間の賃金格差や働き方等の慣行、人々の意識、さまざまな政策や制度等が、依然として戦後の高度成長期、昭和時代のままとなっていることが指摘されている。 人生100年時代を迎え、日本の家族と人々の人生の姿が多様化し、昭和の時代から一変しているなかで、男女共同参画を進めるにあたっては、このことを念頭において、誰一人取り残さない社会の実現を目指すとともに、幅広い分野で制度・政策を点検し、見直していく必要がある、と報告されている。 男女間の働き方等の慣行、人々の意識が依然として変わっていないなかで、意識改革として男女共同参画講演会や人権等についての講演会を開催することは意義のあることと考える。	町民窓口課
	女性の活躍促進のための講座を開催し、女性リーダーの育成や住民活動等への参画を促進します。また、町以外で開催される講座等について情報提供します。	講座の参加人数(人)	100	100	100	100	①神奈川県・寒川町 男女共同参画推進市町村連携事業 男女共同参画特別講演会「男女がともに輝くように」 日時:令和4年11月2日(水)～11月30日(水) YouTubeによる動画配信 参加者:141名(男性61名、女性79名、その他1名) 講師:鈴木 恵枝氏(株式会社マイキャリア・ラボ パートナー講師、株式会社マルシヨ・アンサンプル 代表取締役) 内容:講師からは、コミュニケーションの大切さを学びました。アサーションは、主張はしっかり行うものの、相手は傷つけないという絶妙なコミュニケーション方法です。家庭も職場もコミュニケーションで円滑に進み、男女がともにイキイキと暮らせる社会になるという内容でした。参加者の皆様のアンケートの結果からは、「大変分かりやすかった」「とても参考になった」等のご意見をいただき、自由記載欄には、ほとんどの方が有意義な機会だったと感想をいただいた。令和3年度から37名増(男性35名増、女性6名増)となった。特に男性の参加者が増加したことは男女共同参画社会の実現に一歩近づくことができたと感じた。	A		
			135	188			①2市1町広域連携事業 人権・男女共同参画講演会 『性の多様性を認め自分らしく生きられる社会づくり』 日時:令和5年2月2日(木)午後1時30分～午後3時 会場:藤沢市役所本庁舎8階 8-1, 8-2会議室 参加者47名(内訳:藤沢市29名、茅ヶ崎市12名、寒川町1名、その他4名) 講師:星野 慎二氏(特定非営利活動法人 SHIP理事長) 内容:講師からは、LGBTQに関する説明や当事者の抱える悩みや課題、パートナーシップ宣誓制度などについて話をいただいた。講演会の参加者からは、「LGBTQの方の暮らしにくさを少しでも軽減する環境作りが大事だ」「LGBTQに関する誤解や思い込みがあることの気付きになった」などの意見があり、多様な	2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
6	就労支援講座の開催		3	3	3	3	<p>「神奈川県かながわ労働センター」より共催申請のあった「ワーキングマザー両立応援カウンセリング」を全10回行った。 対象者の相談実績人数：16人</p> <p>「湘南合同就職面接会」令和5年1月25日(水)開催。 参加企業数24社、求人件数48件、求人数83名、面接延数70人、採用者数5人、不採用者数45人、説明のみ20人</p> <p>その他、県等の他団体と協力して就労支援講座等を実践することができた。</p> <p>今後も、各団体が実施する就労支援講座についても積極的に協力し、周知を図っていく必要がある。</p>	A	県等の他団体と協力して就労支援講座等を実践することができたため。	産業振興課
	県や関係機関と共催し、就労支援のための講座を開催します。	講座の開催回数(回)	3	3			2			

施策の内容(2) 女性の積極的な社会参画に関する情報提供

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
7	男女共同参画に関する講座の情報提供		4	4	4	4	<p>男女共同参画推進の講座として、神奈川県、藤沢市及び茅ヶ崎市と連携した講座について情報提供できた。</p> <p>①2市1町人権・男女共同参画特別講演会 『性の多様性を認め自分らしく生きられる社会づくり』 日時: 令和5年2月2日(木)午後1時30分～午後3時</p> <p>②男女共同参画特別講演会「男女がともに輝くように」 日時: 令和4年11月2日(水)～11月30日(水) YouTubelによる動画配信「社会が変わる、私も変わる、ー」</p> <p>○2市1町広域連携事業2件 ・共に生きるフォーラムふじさわ2022「誰のための『女性活躍』?」ほか</p>	A	<p>広報さむかわや町のホームページを活用し、講演会等の情報を広く集め提供することができたため。</p>	町民窓口課
	町内外で開催される、資格取得やスキルアップのための講座について情報提供します。	広報紙、ホームページ等での情報提供回数(回)	4	8						

施策の内容（2）女性の積極的な社会参画のための情報提供

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
8	求人に関する情報提供		30	30	30	30	<p>ハローワーク藤沢、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市と合同で湘南合同就職面接会を開催した。</p> <p>・日時：令和5年1月25日（水）</p> <p>・場所：藤沢商工会館ミナパーク</p> <p>町単独での面接会の実施は難しいため、ハローワークや近隣市と連携及び町内での周知が必要。</p> <p>参加企業数24社、求人件数48件、求人数83名、面接延数70人、採用者数5人、不採用者数45人、説明のみ20人</p> <p>参加事業者 ・藤沢市14社 ・茅ヶ崎市4社 ・鎌倉市4社 ・寒川町2社 総数24社</p> <p>参加求職者数 ・藤沢市17人 ・茅ヶ崎市12人 ・鎌倉市8人 ・寒川町3人 ・平塚市5人 ・横浜市2人 ・大和市3人 ・その他4人 総数54人(男43人・女11人)</p> <p>採用者5人 ・寒川町1人・平塚市1人・横浜市1人・茅ヶ崎市1人 ・藤沢市1人</p>	B	<p>コロナウイルスの影響もあり、密を避けるため、参加企業数を減らしての開催となったが、寒川町からの参加事業者が昨年の1社から2社へ増え、町内からの参加求職者から採用に結びついた方もいた。</p> <p>求人情報提供数30件の目標は変更せず、次年度も事業に継続して取り組む。</p>	産業振興課
	<p>役場ロビーにハローワークの求人検索のための検索端末等を設置し、情報提供に努めます。また、合同面接会等でも求人情報を提供します。</p>	<p>湘南合同就職面接会で求人情報を提供できた企業数(社)</p>						16		

〈基本目標Ⅱ 男女の人権の尊重と異性に対する暴力の根絶〉

施策の基本的方向 1. 異性に対する暴力防止の対策
 施策の内容(1) 配偶者などからの暴力防止に関する意識啓発と被害者への支援

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
9	暴力防止に関する意識啓発						<p>○引き続きホームページへの掲載を行った。なお、令和4年度における町ホームページ訪問数(庁舎外・庁舎内を合わせた数)は 107件。</p> <p>○2市1町広域連携事業において、デートDVの防止に向けた啓発チラシを作成し、寒川高校、関係団体及び成人式での配布を行った。(チラシ1,000部)</p> <p>○図書館において、DVに関するパネル展示を行った。(11月8日～12月1日)</p> <p>○窓口や公共施設のトイレにチラシ等を置き、相談窓口の情報提供を行った。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症での影響など様々な事情により、経済的な理由で生理用品を購入することが難しい方に、防災備蓄用の生理用品を無償で配布。(令和3年8月2日～)生理用品配布の際に、女性相談、DV相談等に関するチラシを併せて配布した。</p> <p>○今後も様々な機会を捉え、情報提供を行っていきけるよう検討していく。</p>	A	ホームページへの掲載を継続し、生理用品配布時にDV相談等に関するチラシ配布することで、周知を図ることができたため。	町民窓口課
	広報紙等を通じてDVに関する情報発信を行い、暴力防止に関する意識啓発を行います。	啓発回数(回)	4	4	4	4		2		

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
10	DV等に関する相談や関係機関との連携						<p>○関係機関との連絡会議(2月2日)1回</p> <p>○関係機関との定期的な情報交換11回</p> <p>町で相談を受けた際は、平塚保健福祉事務所茅ヶ崎支所と連携を取り、相談にあたっている。また、平塚保健福祉事務所茅ヶ崎支所で受けた相談であっても、各種手続きで来庁される場合など、連絡を取り合っ対応している。今後も適宜、情報提供できるよう努めていく。</p> <p>町のDV相談受付件数:3件</p>	A	平塚保健福祉事務所茅ヶ崎支所と定期的に情報交換を行うなど、スムーズな連携が取れているため。	町民窓口課
	関係機関と連携しながらDV等に関する相談を受けるとともに、緊急一時保護事業に関する協定に基づき、DV被害者の緊急一時保護に向けた支援を行います。	関係機関との情報交換機会回数(回)	12	12	12	12		2		

施策の内容（2）各種ハラスメント防止対策の推進

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
11	町役場における各種ハラスメント防止体制の充実	庁内での啓発回数(回)	1	1	1	1	課長級職員を対象に、ハラスメント防止も目的とした「アンガーマネジメント」研修を実施した。怒りの感情やネガティブな感情への向き合い方を学んだ。 研修名:「アンガーマネジメント研修」 研修日時:令和4年12月16日 参加人数:17名	A	啓発や研修により、ハラスメントが発生しないような職場環境づくりに努め、目標を達成したことから標記の評価とした。	人事課
	町職員間における各種ハラスメントの根絶に向けて、相談しやすい職場の雰囲気づくりや周知を行い、相談体制の充実を図ります。		1	1				2		

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
12	各種ハラスメント防止に関する啓発や各種相談窓口の情報提供	啓発回数(回)	2	2	2	2	引き続きホームページへの掲載を行った。なお、令和4年度における町ホームページ訪問数(庁舎外・庁舎内を合わせた数)は120件。相談者には相談窓口の情報提供を行った。引き続き、より有意義な情報提供をどのように実施していくのかを検討していく。 また、引き続き、新型コロナウイルス感染症での影響など様々な事情により、経済的な理由で生理用品を購入することが難しい方に、防災備蓄用の生理用品を無償で配布。(令和3年8月2日～)生理用品配布の際に、女性相談、DV相談等に関するチラシを併せて配布した。令和4年度配付数115枚	A	ホームページへの掲載を継続し、生理用品配付時に女性相談等に関するチラシを配付することで、周知を図ることができたため。	町民窓口課
	広報紙などを活用し、各種ハラスメント防止に関する啓発や関係機関における各種相談窓口の情報提供を行います。		2	2				2		

施策の基本的方向 2. 人権尊重のための対策

施策の内容 (1) 人権侵害防止のための支援

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績				
13	各種相談の実施や人権に関する情報提供		4	4	4	4	昨年度に引き続き、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人との接触を避けるため、街頭での人権啓発活動は中止となったが、産業まつりにおいて感染症対策を行いながら啓発活動を行った。	C	新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、やむを得ず1回のみの実施となった。	町民窓口課
	人権相談など各種相談を実施し、関係機関との連携を図ります。また、人権に関する様々な情報提供を行うとともに、街頭での啓発活動などを通じて町民への意識啓発を行います。		0	1				2		

施策の基本的方向 3. 生涯を通じた心身の健康づくりの充実

施策の内容(1) 男女の心とからだの健康づくりへの支援

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績				
14	健康運動ボランティア地域活動支援						①健康づくり体操の日 4/13、4/21、5/11、5/25、6/8、6/16、7/13、7/21、 8/4、9/7、9/22、10/6、10/26、11/9、11/30、12/8、 12/22、1/26、2/8、2/22、3/9、3/22 計22回開催。 延べ参加人数女性:381人、男性:50人参加 ②出前講座 老人ホームファミリーユ湘南での健康体操:年12回、延 べ参加人数120人(男女内訳なし)その他地域サロ ン、シニアクラブ等からの依頼:6件。健康体操、夏休 みのラジオ体操)延べ参加人数:749人(男女内訳な し) ③町事業等での協力 6/4子どもまつり、6/12食育ひろば、9/4音楽ひろば、 10/10レクリエーションフェスティバル、10/12J:comよ りご当地体操紹介生放送 計5件 事業課題 健康づくり体操の日に関して男性の参加率が低い結 果となった。	A	健康運動ボランティアによる地域支援活動は、コ ロナ感染対策を実施しながら目標値を達成するこ とができたため。男性参加者が増えるよう男性に も興味のある内容等を検討する。	健康づくり課
	地域の实情やライフステージに合わせた健康づくりとして、町民が自主的に健康づくりや生活習慣病予防や健康維持・増進に取り組む機会を提供することで、健康づくりにおいて重要な要素となる町民のつながりの維持を図ります。	健康運動ボランティア地域活動実施回数(回)	45	45	45	45		1		
			0	45						

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績				
15	公民館講座（健康づくり講座）の開催		3	3	3	3	【町民センター】 ●からだにやさしい体操教室、9/28、13人参加 【北部公民館】 ●春の鎌倉、歴史にふれるハイキング4/2、14人参加 ●ちょっと健康タイム7/10、11人参加 ●寒川歴史散歩11/26、5人参加 ●秋の鎌倉ハイキング11/29、7人参加 ●バドミントン教室10/1～11/26(6回)延べ38人 ●シニアクラス・ニュースポーツを楽しむ7/10、9人参加 ●シニアクラス・カラダと健康2/22、7人参加 【南部公民館】 ●セルフ腸もみダイエット4/25、5/23、延べ16人参加 ●血液循環簡単マッサージ講座11/18、11/25、延べ11人	A	計画どおり、公民館事業で健康に関する講座として多くの機会を提供することができた。	教育政策課
	公民館講座を通じて健康に対する意識付けを図るなど、町民の健康づくりを支援します。	講座の開催回数(回)	8	17						

施策の内容（2）性に関する正しい知識と普及啓発

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
16	新成人への健康教育の実施		1	1	1	1	令和5年1月9日実施、450部パンフレットの配布を行う。 パンフレットの内容を更新し、栄養、喫煙・アルコールの影響や、男性にもかかわりがある子宮頸がんについてわかりやすく周知するためのよい機会になっている。しかし、20歳代の子宮がん検診受診者数の伸びにつながっていない。	A	4年度内容の更新・興味を持ってもらえるような工夫をして作成し配布できたため。子宮頸がんを男性からも問題視できるような啓発をしていく。	健康づくり課
	新成人へのパンフレット配布による健康教育を実施します。	小冊子の配布回数(回)	0	1				1		

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
17	豊かな心・文化育成事業		10	10	10	10	町内小・中学校において、新学習指導要領に基づいて、保健体育科や特別の教科 道徳科などの各教科、総合的な学習の時間等を通じて、性に関する内容を取り扱い、適切に指導を図った。 性教育に関しては、正確な理解を通して適切な行動に結びつくことから、今後も子どもの発達段階に応じて、教育活動の機会を捉えて適宜指導することが必要である。 また、発達段階に応じてLGBTQについて正しい認識をもち、「多様な性」について理解する必要がある。	A	町立小・中学校において、子どもたちの発達段階や実態に応じて性教育に関する指導を行った。特にデリケートな内容については、男女を分けて指導したり、養護教諭等と連携して対応したりすることにより、個の事情に応じた指導につなげている。	学校教育課
	教科や道徳の時間、総合的な学習の時間等を通して、性教育を推進します。	性教育実施時間数(時間)	10	10				2		

〈基本目標Ⅲ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）推進のための環境づくり〉

施策の基本的方向 1. 誰もが働きやすい就業環境づくり

施策の内容（1）ワーク・ライフ・バランスについての理解促進

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
18	ワーク・ライフ・バランスに関する企業への啓発		3	3	3	3	国や県から提供された情報をホームページ、広報、窓口による周知等により、町内事業者に対する啓発を図った。	A	広報等による周知を行うことで町内事業者に対する啓発を図ることができたため。	産業振興課
	国や県からのチラシ・パンフレットを町内事業所に対して配布し、制度の周知や普及の促進を図ります。	企業への啓発回数(回)	3	3				2		

施策の内容（2）女性の就業・雇用環境改善のための支援の充実

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
19	労働相談に関する情報提供		3	3	3	3	・県や各関係機関が実施する各事業や相談先について、町HP情報提供を行った。	A	HPによる周知やチラシの配架により情報提供を行った。 次年度以降も、必要な情報を精査した上で、HP等に掲載をしていく。	産業振興課
	広報紙やホームページ等で労働相談窓口などの情報提供を行うとともに、相談内容に応じて関係機関を紹介するなど、労働相談に関する情報提供を行います。また、関係機関と協力し労働者向けに労働に関する相談会を実施します。※雇用情勢により実施しない場合もあります。	広報紙・ホームページ等での情報提供回数(回)	6	5				2		

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
20	労働講座の開催		1	1	1	1	労政問題懇話会との共催で労働講座を開催した。 日時: 令和5年2月13日(月)18:30~20:00 場所: 町民センター テーマ: 会社周辺の自然災害等のリスクについて 講師: 寒川町町民安全課職員 参加者数: 38名	A	労政問題懇話会と連携し、労働講座を開催することができたため。	産業振興課
	関係機関と協力し、労働環境の改善に関する講座を開催します。	開催回数(回)	0	1				2		

施策の内容(3) 育児・介護に関する制度の理解と普及の促進

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
21	育児休業取得の促進		100	100	100	100	配偶者が出産した男性職員: 5名 育児休業を取得した男性職員: 4名(取得日数: 196日、30日、19日、60日) なお、配偶者が出産した男性職員5名の特別休暇の取得状況は次のとおり。 出産付添いの特別休暇(3日以内): 5名(各2~3日) 育児参加のための休暇(5日以内): 4名(各1~5日)	A	対象となる職員に対して育児に伴う休暇休業について制度周知を図り、目標を達成したことから標記の評価とした。	人事課
	町職員が男女ともに育児休業を取得しやすい環境を整備し、子育ての支援を図ります。	男性職員の育児休業取得率(%)	31	80				2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
22	介護休業取得の促進		1	1	1	1	家族の介護等を行う職員からの制度等の相談について制度周知を図るとともに、詳細について説明を行っている。	A	対象となる職員に対して介護に伴う休暇休業についての制度の周知を図り、目標を達成したことから標記の評価とした。	人事課
	町職員が男女ともに介護休業を取得しやすい環境を整備し、介護への支援を図ります。	庁内での啓発回数 (回)	1	1				2		
23	ワーク・ライフ・バランスに関する企業への啓発（再掲）		3	3	3	3	国や県から提供された情報をホームページ、広報、窓口による周知等により、町内事業者に対する啓発を図った。また県の働き方改革に係るセミナーの後援をした。	A	広報等による周知や後援をすることで町内事業者に対する啓発を図ることができたため。	産業振興課
	国や県からチラシ・パンフレットを町内事業所に対し配布し、制度の周知や普及の促進を図ります。	企業への啓発回数 (回)	3	3				2		

施策の基本的方向 2. 仕事と家庭・地域活動との両立の支援
 施策の内容(1) 子育て・ひとり親家庭への支援

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
24	保育環境充実事業		120	120	120	120	認可保育所等に通常保育事業の実施を委託し、併せて事業に対して助成を行った。 既存の施設の大規模改修に対して国庫補助金を活用し補助金を交付することにより、保育環境を整えることができた。 令和5年4月開園予定の小規模保育事業の施設改修工事等に対して国庫補助金を活用し補助金を交付することにより、小規模保育施設開所に向けて事業者に対して支援ができた。次年度の定員の増に繋げることができた。	B	既存の認可保育所が面積要件や保育士配置基準を満たしたうえで、定員以上の受入をしている。保育の必要性のある児童を認可保育所等において保育することで保護者の就労支援を行うことができた。	子育て支援課
	認可保育所や認可外保育施設、私立幼稚園に給付費や補助金を支出することにより、保育所の設備及び運営基準の維持、事業の充実を図ります。	定員に対する入所率(%)	101	107				2		
事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
25	子育て支援相談事業		100	100	100	100	相談日：月から金 9:00～16:00 相談件数 653件 課題等：育児不安を抱える家庭は増加の傾向にあり、相談内容も多岐に渡り、複雑化・長期化の傾向がある。	A	他機関との連携を含む継続フォローや支援等、悩みを抱える子育て家庭へのサポートを行い、養育者の負担軽減を図った。 相談に対しては、全数対応できた。	子育て支援課
	子育て全般についての相談指導と育児情報の提供を行います。	相談への対応率(%)	100	100				2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
26	児童クラブ運営事業		270	301	309	315	開所日288日 自宅で保育を受けることができない児童を受け入れることにより、保護者の就労や女性の社会進出を支援する。各児童クラブの運営負担を軽減するため寒川学童保育会に一括して運営委託を行った。	B	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、適切な遊び及び生活の場を与えて、児童の健全な育成を図ることができた。	学び推進課
	保護者が労働等により放課後等家庭にいない児童に、適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を推進します。	入所児童数 (人)	247	266				2		
事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
27	ひとり親家庭等医療費助成事業		100	100	100	100	ひとり親家庭等医療費助成事業の該当者に対し、窓口等において周知するとともに、助成対象者に対する助成を実施した。 R4助成対象者数:773人 (参考) 児童扶養手当非受給世帯及び人数 H29:29世帯(85人) H30:23世帯(56人) R1 :21世帯(49人) R2 :17世帯(38人) R3 :17世帯(39人) R4 :18世帯(40人)	A	離婚や死亡、転入転居等の手続きの機会に窓口や電話で説明・周知を行っている。その後の世帯や所得の状況の変化により申請しないケースがあると思われるが、該当者への周知や助成対象者への助成は実施できている。	子育て支援課
	ひとり親家庭等の人が病院等を受診したときに支払う医療費のうち、保険診療分の自己負担額を助成します(所得制限有り)。	助成率 (%)						100		

施策の内容(2) 男性の家事・育児・介護などへの参加の促進

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
28	父親・母親教室の開催		100	100	100	100	計画通り5コースを開催した。 延べ妊婦148人 夫77人参加。 各コース4日目の日曜日は、妊婦とパートナー2人での参加はおおよそ87.5%であった。 参加延べ人数(妊婦+夫)に対する夫(パートナー)の割合は年々増加し、H29年度23.8%であったが、R4年度34.2%となっている。 夫(パートナー)の割合が増えているものの、参加者自体がコロナ禍で減っている。	B	感染防止対策をとりながら、計画どおり教室を開催できた	子育て支援課
	妊婦とそのパートナーを対象にした、妊娠・出産・育児や家庭づくり等についての講座の開催を通じて、男女が協力して家事や育児を行うことについて意識啓発を図ります。	参加者の満足度(%)	94	97				2		
事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
29	母子訪問指導事業		1,000	1,000	1,000	1,000	令和3年度に引き続き、令和4年度も、通常の訪問に加え、新型コロナウイルス感染症の影響で、集団健康診査を希望されない家庭への家庭訪問など実施した。 その際に、テレワーク等により在宅している夫(パートナー)と可能であれば面接指導を実施した。 母子訪問合計が減少している。 出生数の減少が要因と考えている。	A	母子健康手帳交付時にもイクメンテキストを配布し、父親の育児参加を促している。産後の訪問についても妊娠中や出産後に父親に直接周知することで、訪問の受け入れも良好である。訪問時には男性の育児参加への意識啓発も実施している。	子育て支援課
	乳幼児を育てている家庭を訪問し、育児状況の確認や子どもと養育者の心身の健康づくりへの助言等と併せて、男性の育児参加への意識啓発を行います。	母子訪問合計件数(件)	1,443	1,317				2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
30	介護教室の開催		105	105	105	105	<p>○家族介護教室 令和5年3月24日開催、12名参加(男性4名、女8名)。介護予防及び終末期について、男女問わず考えるきっかけとなるような内容が展開された。今後も取り上げるべきテーマやトピックを充分検討のうえ開催していく。</p> <p>○認知症高齢者介護教室(認知症サポーターステップアップ講座) 住民向けの講座を3回、町内の企業や団体向けの講座を6回実施し、合計160名(男性52名、女性108名)が受講した。住民向け講座の受講者は7割以上が女性であったが、町内の企業や団体向けの講座を積極的に実施したことで、男性の受講者数の増加に繋げることができた。</p>	A	<p>○家族介護教室 これまでコロナ禍において開催を見送ってきたが、講師の協力も得て感染対策を講じ開催に至ったため。</p> <p>○認知症高齢者介護教室(認知症サポーターステップアップ講座) 新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたことで、町内の企業や団体向けの講座を積極的に実施し、目標値を超える受講者を確保することができたため。</p>	高齢介護課
	介護技術・対応方法を習得するための講習会の開催を通じて、男女がともに介護を担うことの意識啓発を図ります。	講座の参加人数(人)	61	172				2		

施策の内容(3) 地域活動への参加の促進

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
31	公民館講座(男性向け講座)の開催		3	3	3	3	対象を男性に限定した講座の実施なし	D	町民の地域活動への参加を促進するための講座等は実施しているが、参加対象者の性別は限定しない形式で開催している。	教育政策課
	公民館講座を通じて、男性の地域活動への参加に対する意識づけを促進します。	講座の開催回数(回)	3	0				3		

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
32	ファミリーサポートセンター事業		1,720	1,690	1,680	1,660	4年度末の会員数については、おねがい会員636人、まかせて会員120人、どちらも会員122人であった。 課題等:おねがい会員数に対し、まかせて会員数が少ない。引き続きおねがい会員からまかせて会員やどちらも会員に登録していただける会員を増やしていくことや、事業内容の周知に引き続き取り組んでいく必要がある。	A	活動件数は目標値を達成した。前年度比約102%で増となった理由は、習い事への送迎、学童保育の迎え、保護者の外出などの利用が増えたことによるもの。	子育て支援課
	育児の援助を受けたい人を行う人が会員となって一時預かり等の事業を行うことにより、育児世代の地域活動への参加を支援します。	活動件数 (件)	2,964	3,030				2		

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
33	生涯学習に関する情報提供		6	6	6	6	男女を問わず、生涯学習に関する情報を提供した。 1.さむかわ町民大学(年2回発行) 2.出前講座 3.4.生涯学習人材登録制度「ステップアップ」メニュー紹介用/登録者募集用 5.さむかわ生涯学習総合案内 ○町ホームページ関連ページのページビュー数は598件	A	パンフレットや情報紙を発行し、町内各施設に配架するとともに、町ホームページにおいても掲載することで、幅広い世代に対して生涯学習に関する情報提供を行うことができた。課題としては、より多くの人に情報が届くよう、学習情報の効果的な提供方法を検討していく必要がある。	学び推進課
	さむかわ町民大学、出前講座、生涯学習人材登録等の学習情報を提供し、地域活動への参加を支援します。	広報紙、ホームページ、パンフレットでの啓発回数 (回)	6	6				2		

〈基本目標Ⅳ 男女共同参画社会への理解促進〉

施策の基本的方向 1. さまざまな場における意識づくりの推進

施策の内容(1) 職場や地域における意識啓発

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値				
			実績	実績	実績	実績				
34	男女共同参画に関する講座の開催		100	100	100	100	<p>男女共同参画推進の講座として、神奈川県、藤沢市及び茅ヶ崎市と連携した講座を開催した。</p> <p>①神奈川県・寒川町 男女共同参画推進市町村連携事業 男女共同参画特別講演会 「男女がともに輝くように」 日時：令和4年11月2日(水)～11月30日(水) YouTubeによる動画配信 参加者：141名(男性61名、女性79名、その他1名) 講師：鈴木 恵枝氏(株式会社マイキャリア・ラボパートナー講師、株式会社マルシオン・アンサンブル代表取締役) 内容：講師からは、コミュニケーションの大切さを学びました。アサーションは、主張はしっかり行うものの、相手は傷つけないという絶妙なコミュニケーション方法です。家庭も職場もコミュニケーションで円滑に進み、男女がともにイキイキと暮らせる社会になるという内容でした。参加者の皆様のアンケートの結果からは、「大変分かりやすかった」「とても参考になった」等のご意見をいただき、自由記載欄には、ほとんどのの方が有意義な機会だったと感想をいただいた。令和3年度から37名増(男性35名増、女性6名増)となった。特に男性の参加者が増加したことは男女共同参画社会の実現に一步近づくことができたと感じた。</p> <p>②2市1町広域連携事業 人権・男女共同参画講演会 『性の多様性を認め自分らしく生きられる社会づくり』 日時：令和5年2月2日(木)午後1時30分～午後3時 会場：藤沢市役所本庁舎8階 8-1, 8-2会議室 参加者47名(内訳：藤沢市29名、茅ヶ崎市12名、寒川町1名、その他4名) 講師：星野 慎二氏(特定非営利活動法人 SHIP理事長) 内容：講師からは、LGBTQに関する説明や当事者の抱える悩みや課題、パートナーシップ宣誓制度などについて話をいただいた。講演会の参加者からは、「LGBTQの方の暮らしにくさを少しでも軽減する環境作りが大事だ」「LGBTQに関する誤解や思い込みがあることの気付きになった」などの意見があり、多様な性への理解の一助となった。</p>	A	<p>①②の出席者数の合が、188人であったため。</p> <p>男女共同参画白書(令和4年版)によると、コロナ下において、日本における男女共同参画が進んでいなかったことが改めて顕在化した。問題の背景には、家族の姿が変化しているにもかかわらず、男女間の賃金格差や働き方等の慣行、人々の意識、さまざまな政策や制度等が、依然として戦後の高度成長期、昭和時代そのままとなっていることが指摘されている。</p> <p>人生100年時代を迎え、日本の家族と人々の人生の姿が多様化し、昭和の時代から一変しているなかで、男女共同参画を進めるにあたっては、このことを念頭において、誰一人取り残さない社会の実現を目指すとともに、幅広い分野で制度・政策を点検し、見直していく必要がある、と報告されている。</p> <p>男女間の働き方等の慣行、人々の意識が依然として変わっていないなかで、意識改革として男女共同参画講演会や人権等についての講演会を開催することは意義のあることと考える。</p>	町民窓口課
	事業所向けまたは生活に密着した視点から男女共同参画に関する講座を開催し、職場や地域における男女共同参画への意識啓発を図ります。	講座の参加人数(人)	135	188			2			

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
35	人権教育推進事業		2	2	2	2	【町民センター】 ●平和講座、8/27、7人参加 【南部公民館】 ●自治会文書が語る戦時下の暮らし、8/7、15人参加 【総合図書館】 ●バリアフリー映画会、11/13、7人参加	A	計画どおり、人権に関わるテーマとした講座を公民館、図書館事業として提供することができた。	教育政策課
	人権教育講演会等の講座、講演会を開催して、男女共同参画の意識啓発など社会教育の機会を提供します。	講座の開催回数(回)	2	3				2		

施策の内容(2) 家庭における意識啓発

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
36	父親・母親教室の開催(再掲)		100	100	100	100	計画通り5コースを開催した。 延べ妊婦148人 夫77人参加。 各コース4日目の日曜日は、妊婦とパートナー2人での参加はおおよそ87.5%であった。 参加延べ人数(妊婦+夫)に対する夫(パートナー)の割合は年々増加し、H29年度23.8%であったが、R4年度34.2%となっている。 夫(パートナー)の割合が増えているものの、参加者自体がコロナ禍で減っている。	B	感染防止対策をとりながら、計画どおり教室を開催できた	子育て支援課
	妊婦とそのパートナーを対象にした、妊娠・出産・育児や家庭づくり等についての講座の開催を通じて、男女がお互いを理解し尊重することについて意識啓発を図ります。	参加者の満足度(%)	94	97				2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
37	家庭教育講座等開催事業						<p>【町民センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子ども映画会、4/16、6/11、延べ49人 ●親子で楽しく学ぶ恐竜の話、11/12、38人 ●星空観察会、1/28、27人 ●親子工作教室、1/29、26人 ●ママとベビーのふれあい体操、11/24、11/28、延べ14人 ●みんなでたのしむオペラ「ヘンゼルとグレーテル」、12/3、300人 <p>【北部公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●おはなし図書館4～3月(10回)、延べ73人 ●親子でホタル観察会、5/29、37人 ●北部ハロウィン、10/29、36人 <p>【南部公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●おはなし広場幼児4～2月(6回)、延べ68人 ●親子でクラフト教室4/8、6/24、10/14、12/9、延べ56人 ●親子でミニリトミック体験、8/5、2/6、延べ26人 ●親子でリトミック教室、10/31、11/7、延べ56人 ●クリスマス広場、12/18、49人 <p>【総合図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●おひざにだっこのおはなし会、4～3月(22回)、139人 ●出張わらべうた会、6/23、10/6、2/9、延べ32組 	A	子育て家庭を支援するため、地域での家庭教育や親子参加型の講座・イベント等の参加しやすい活動を工夫し、機会を提供することができた。	教育政策課
	家庭教育講座等を開催して、男女共同参画の意識啓発など社会教育の機会を提供します。	講座の開催回数(回)	4	4	4	4		2		
			5	60						

施策の内容（3）学校等における意識啓発

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
38	教職員の資質向上事業		230	230	230	230	教職員研修会(5/18,7/26,8/18,8/29(全4回,192名)及び教育講演会(7/21 54名)において、人権感覚や男女共同参画に配慮した授業づくりや教育課題に向けての研修を行い、教職員の意識を高めた。新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、オンラインでも教職員研修会を開催した。 ・研修会・教育講演会参加男女比 21:20	A	充実した研修会、講演会を行うことができた。地域と共に学校を考えるコミュニティースクールやがん教育など、社会や教職員のニーズに沿った視点を今後も研修に取り入れ、教職員の意識向上等を目指した研修を行う必要がある。	学校教育課
	教職員向け講演会や研修会等を開催し、児童・生徒への人権を配慮した教育の充実を図ります。	研修会等への参加者数(人)	56	246				2		
事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和4年度)	評価	評価の理由 (令和4年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
39	中学生人権作文コンテストの実施		150	150	150	150	人権作文コンテストについては、夏休みの宿題で選択制となっている。そのため、増減数については予想することが難しいが、令和4年度に募集を行った結果、295名(前年度の約3倍)の応募があった。	A	目標の約2倍の数の応募があったため。中学生人権作文コンテストは、次代を担う中学生が人権問題について作文を書くことによって、人権尊重の重要性、必要性についての理解を深めることに寄与できたと考えられる。	町民窓口課
	関係機関と連携して人権作文コンテストを実施し、人権に対する生徒の意識啓発を図ります。	作文の応募者数(人)	99	295				2		